

千曲川ワインバレーに

恋するワイン会 in 東御

湯楽里館
ワイン&ビアミュージアム



2019/

12/21.sat

13:30~17:00

参加費 5,000円

定員 60名(先着順)

【申込み】お電話または、裏面の申込用紙にご記入のうえFAXでお申込みください。
(申込み締切は2019年12月17日(火)まで)

【お支払】当日会場にてお支払いください。
(キャンセル代が発生するため、キャンセルの場合は3日前までにご連絡ください)

【送迎バス】当日しなの鉄道田中駅から送迎バスを運行します。詳細は裏面をご覧ください。

【主催】千曲川ワインバレー特区連絡協議会(会員:上田市、千曲市、小諸市、東御市、立科町、長和町、青木村、坂城町)

【後援】長野県上田地域振興局、関東信越国税局、日本政策金融公庫長野支店・小諸支店

第1部

13:30~14:45

座談会

千曲川ワインバレーの 新たな担い手と未来について

司会



ソムリエ
花岡純也さん
(一社)長野県観光機構
事業統括本部 物産ブランド振興
部魅力発信プロデューサー(ウ
イン)兼 NAGANO WINE 応援団代表



cave hatano 代表取締役
波田野 信孝さん

坂城葡萄酒醸造株式会社
代表取締役
成澤 篤人さん

パネリスト

ジオヒルズワイナリー
醸造責任者
富岡 隼人さん

たてしなツプルワイナリー
醸造責任者
井上 雅夫さん

第2部

15:00~17:00

Vino della Gatta SAKAKI

千曲川ワインと 地元食材のマリアージュ



[参加ワイナリー]

cave hatano、496 ワイナリー、アルカンヴィー
ニュ、ヴィラデストワイナリー、ぼんじゅーる農
園、ドメーヌナカジマ、ナゴミ・ヴィンヤーズ、
はすみファーム&ワイナリー、リュードヴァン、
児玉邸、Sail the Ship vineyard、Veraison-Note、
シャトー・メルシヤン 梶子ワイナリー、マンズウ
イン(株)小諸ワイナリー、ジオヒルズワイナリー、
アンワイナリー、テールドシエル、ドメーヌ・フ
ジタ、イルフェボー、千曲市ワインぶどう研究会、
いざわの畑、たてしなツプルワイナリー、ヴィン
ヤードカラリア、輪果ファーム、オードリーファ
ーム、坂城葡萄酒醸造(株)

お問合せ

千曲川ワインバレー特区連絡協議会事務局

〒386-8601 長野県上田市大手一丁目11番16号

TEL: 0268-21-0053 (上田市役所農産物マーケティング推進室)

お申込み

湯楽里館ワイン&ビアミュージアム

〒389-0505 長野県東御市和3875 湯楽里館2階

TEL: 0268-75-0885 FAX: 0268-64-5881(東御市役所6次産業化推進室)

参加申込書

締切

FAX

東御市役所 6次産業化推進室

2019/12/17 (火)

0268-64-5881

お電話の場合は... 湯楽里館ワイン&ビアミュージアム
TEL: 0268-75-0885

お名前	(フリガナ)				
性別		年齢		職業	
住所	〒			飲酒	可 / 否
連絡先	※当日連絡が可能な電話番号(携帯)をご記入ください				
送迎バス	利用する / 利用しない	バスを利用される方はご乗車予定の便に○をしてください ①12:40 発 ②13:15 発			



※送迎バスのご利用について※

当日しなの鉄道田中駅より、無料送迎バスを運行します。バスのご利用を希望される方は、上記参加申込書の利用するに○をしていただき、ご希望の乗車時間をご指定ください。



アクセス

お車でお越しの方

- 上信越自動車道をご利用の場合
東部湯の丸ICから浅間サンライン(県道79号)を上田方面へ、湯楽里館入口信号を右折。
- 上田方面、小諸方面からお越しの場合
浅間サンライン(県道79号)湯楽里館入口信号を北へ。

電車でお越しの方

北陸新幹線軽井沢駅か上田駅でしなの鉄道に乗り換え、田中駅下車。田中駅からは送迎バスをご利用ください。

※お車、自転車を運転される方、未成年の方へのアルコール類のご提供はお断りしております。

千曲川ワインバレーとは??

上田市、小諸市、千曲市、東御市、立科町、青木村、長和町、坂城町の全域において果実酒の最低製造数量基準が緩和され、マイクロワイナリー・ガレージワイナリーなど小さな規模からワイナリーを始めることができます。

千曲川中流域に位置する本地域は、内陸性気候の特徴と風土を活かし、巨峰をはじめとするぶどう、リンゴ、アンズ等の果樹栽培が盛んな地域であり、個人経営によるワイナリーも増加傾向にある中、6次産業化による農業振興への関心が高まっています。8市町村が協力してワイン産業の更なる発展を目指し、ワインを機軸とした地域振興と、広域的ワインツーリズムによる交流人口の増加を図ることを目的としています。